

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成26年度)

2. 分野等別状況 (2)地域活性化総合特区 ⑤農林水産業分野(9/10)

| | 評価区分 (※) | 評価結果 (ⅠとⅡとⅢの平均値) | Ⅰ | Ⅱ | Ⅲ | 総合評価に係る専門家所見(主なもの) |
|--|-------------|---------------------|---|--|------|---|
| | | | 目標に向けた取組の進捗に関する評価 | 支援措置の活用と地域独自の取組の状況 | 総合評価 | |
| 「森里海連環 高津川流域ふるさと構想」特区 (島根県益田地区広域市町村圏事務組合) | 正 | 3.2 | 3.7 進捗度 ・路網整備と計画的施業の推進 91% ・地域資源を活用した農村定住・交流促進 95% ・高津川流域の水質浄化及び川と海の水産資源の維持・増殖 82% | 3.3 規制の特例等 ・特定農業者特定酒類製造事業 ・地域活性化総合特別区域通訳案内士育成等事業 財政支援等 ・壊れない作業路網整備事業 等 地域独自の取組 ・高津川水産資源保全事業 等 | 2.5 | <p>・規制の特例措置を活用した事業や財政支援の活用実績については、比較的活発であると評価できる。一方、地域独自の取組みが活発でないように見受けられる。</p> <p>・流下アユ仔魚数については、年々減少傾向にある。当初から目標が過大であると考えられたが、当初年度と比べても6分の1になっていることは、何か根本的な原因があるものと推察できる。</p> <p>・交流人口の指標変更については、外国人宿泊者数および農業体験交流人口に変更することで飛躍的に数字が増加している理由は何か。外国人旅行者が多いのであれば、特区事業の取組みにより育成された特区内限定通訳案内士を今後どう生かしていくのか、どのような旅行商品を開発できるのか等、定量評価を補足する定性的な評価・説明があるとより良い。</p> |

◆評価書は[こちら](#)

◆評価結果は[こちら](#)

※「正」とは正評価、「準」とは準評価を意味する。